

食道癌に対する NDP+5-FU療法(+Radiation)

(アクプラ+フルオロウラシル)

)RPHW_D)RPHW_1

2022年02月14日 改訂(第10版)

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 ＜＜SYPID＞＞	氏名 ＜＜ORIBP_KANJI＞＞	年齢 様＜＜SYAGE＞＞	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ～ ()	実施サイクル コース目	コース予定	【調製指示(初日)】 ☐ 調製可 ☐ TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				【調製指示(2日目以降)】 ☐ 調製可 ☐ TEL連絡後調製		

Day1 (/)

本管

☐ ソルデム3A 1,000mL
or
☐ エルネオパ 号

(24hr維持)

側管1

全開で 生理食塩水 50mL

(24hr) 生理食塩水 500mL
フルオロウラシル mg

側管2

開始時 (30min)
パロノセトロン 0.75mg/50mL
プロイメンド 1V
デキサート6.6mg 1A
デキサート3.3mg 1A
(リン酸エステル換算 12mg)(2hr) 生理食塩水 500mL
アクプラ mg

全開で 生理食塩水 50mL

持続点滴

Day2 (/) ～ Day5 (/)

本管

☐ ソルデム3A 1,000mL
or
☐ エルネオパ 号

(24hr)

側管1

(24hr) 生理食塩水 500mL
フルオロウラシル mg全開で 生理食塩水 50mL
※day5のみ

側管2

開始時 (30min)
生理食塩水 100mL
デキサート6.6mg 1V
(リン酸エステル換算 8mg)

午前中に

持続点滴

※Radiationは1週に5日間を5週、計25日間照射

●反復投与基準

- 1.白血球数 2,500/mm³以上
 - 2.ヘモグロビン 8.0g/dl以上
 - 2.血小板数 75,000/mm³以上
 - 4.非血液毒性
- national cancer institute toxicity criteria のGrade2以下に改善

NDP+5-FU療法(+Radiation)

標準投与量:

NDP	90 mg/m ²	day1
5-FU	800 mg/m ²	day1-5
5週毎		